

平成26年度施策評価調書

整理番号	16
評価担当課	建設水道部都市整備課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	都市計画制度の推進と適正な管理(3-9-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	9	都市環境の整備

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	都市計画マスタープランを背景とした新市のまちづくりを計画的に実施し、快適で魅力のあるまちを創出する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	公園遊具の再整備や「よろーな」を整備し、市街地地区の賑わいの再生と生活環境の向上を図っています。地籍数値情報のデジタル化については委託により、国・道の補助金を活用して進めている。
施策の課題	各事業において、事業要望額に対しての補助金等の配当が少ないことから、計画的な事業進捗となっていない。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
地籍数値情報化事業	毎年の委託費による達成率	目標値		8,998	8,998	
		実績値		4,292	3,411	
		進捗率		48%	38%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	地籍数値情報のデジタル化については、要望額に対しての国からの補助金が減額となっていることから、進捗状況は遅れているが、公園遊具の再整備や「よろーな」の整備など、計画的なまちづくりの推進により、市街地地区の賑わいの再生と生活環境の向上を進めている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

地籍数値情報のデジタル化については、国・道からの補助金、交付金等を活用するため、計画事業の先送りを行いながら事業の進捗を図ることとする。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり。地籍情報の早急なデジタル化が必要。

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり。地籍情報の早急なデジタル化が必要。

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	地籍数値情報化事業	地籍のデジタル化にすることにより、経費の低減を図る目的とする。	3,411	b	a	b	a	d	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)